

青雲



別海町立中春別中学校

学校だより 第1号

平成28年4月6日 発行 校長 高橋 昭

* 青雲…校歌2番歌詞中の言葉です。学徳が高いという意味もあります。

進級・入学おめでとうございます

校長 高橋 昭

春眠暁を覚えずと申します通り、まことに心地よい時節となりました。3月の修了式から2週間足らずではありますが、大きな事故やけがもなく、元気な生徒の声や姿が学校に戻ってきました。きっと、今日は、進級や入学したことに新たな決意、希望や期待に胸を膨らませて登校したことと思います。本校教職員一同、同じ気持ちを持って新年度への準備を進め、今日を迎えました。

新入生17名を加え、総生徒数57名でのスタートとなります。先月、新しい体育館も完成し、更に快適な環境の中で学校生活が送れるようになりました。今年度は、旧体育館解体工事と外構工事を行い校舎改築工事も全て終了します。

学校の教育目標「現在はもちろん将来においても、人間が人間として生きることのできる確かな自己をたくましく築く生徒を育てる(校訓:英知・誠実・強健・創造)」とあるように、知・徳・体バランスのとれた生徒を育てるべく、保護者・地域の皆様と一緒に力を合わせて取り組んでいく所存です。今年度は、生徒が学習面・生活面等において、アクティブに行動することを重点にして教育活動にあたります。皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

☆☆☆校長のつぶやき☆☆☆

好評(?)につき今年度もこのコーナーを設けました。1回目、昨年度2号に掲載した『子育て四訓』に感銘を受けましたので再掲させていただきます。

1. 乳児はしっかり肌を離すな
2. 幼児は肌を離せ、手を離すな
3. 少年は手を離せ、目を離すな
4. 青年は目を離せ、心を離すな

子供の自立に向けた親としての距離の取り方だそうです。中学生は少年期、活動範囲を広げてあげることが大切だがいろいろな危険があるので目を離してはいけない、この時期、親に反抗するなど苦勞が多いが、これは成長の過程で、親として逃げずに一緒に成長することを心がけるべきだそうです。

ちなみに昨年度の出だして紹介した我が長男は25才になり、未だに親のすねをかじり、バイトしながら人生の修行中です。円山動物園のシロクマを見たついでに、時間があれば近くの記念写真屋さんも見てください。たぶんうちの長男です。

